2022 年 4 月のおでかけ指数

～人流は全国的に回復傾向

2022 年 5 月 9 日

公益財団法人九州経済調査協会　事業開発部

九経調 DATASALAD（https://datasalad.jp/）では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

このたび、当会が提供している人流モニタリングプラットフォーム「おでかけウォッチャー」（https://odekake-watcher.info/）の掲載データ[1]の一部を集約して、全国における非日常的な人流を可視化する指標として、「おでかけ指数[2]」を開発し、初めて発表する。本稿では、直近となる 2022 年 4 月における全国の人流動向を分析する。なお、DATASALAD 上では、来訪地側（着地側）と発地側の 2 種類の「おでかけ指数」を公表しているが、本稿では主に来訪地側を取り上げる。

1. 全国のおでかけ指数： 5 カ月連続で上昇

2022 年 4 月における全国のおでかけ指数は 55.8 となり、前年比＋35.1%で、5 カ月連続で前年を上回った（図 1、表 1）。新型コロナウイルス感染拡大の第 6 波が落ち着く中で、回復傾向が継続した。ただし、2019 年同月比では▲47.8%と、コロナ禍前水準より半数近く人流が少ない状況が続いている。

図 1　おでかけ指数の推移（全国）

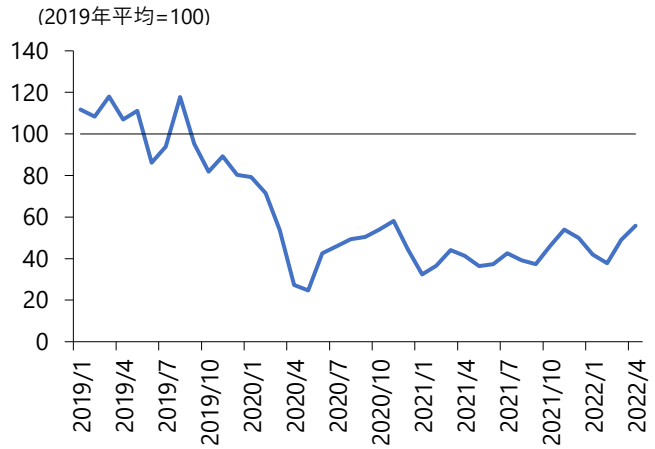


表 1　おでかけ指数の推移（全国）

	おでかけ指数（来訪地側）	前年比	2019年同月比
2021/4	41.3	＋ 51.3%	▲ 61.4%
2021/5	36.4	＋ 47.4%	▲ 67.3%
2021/6	37.3	▲ 12.2%	▲ 56.7%
2021/7	42.5	▲ 50.7%	▲ 54.7%
2021/8	39.1	▲ 20.7%	▲ 66.8%
2021/9	37.4	▲ 25.9%	▲ 60.7%
2021/10	46.1	▲ 14.5%	▲ 43.6%
2021/11	54.0	▲ 7.2%	▲ 39.5%
2021/12	50.0	＋ 12.4%	▲ 37.7%
2022/1	41.9	＋ 29.3%	▲ 62.5%
2022/2	37.8	＋ 3.3%	▲ 65.1%
2022/3	49.0	＋ 11.1%	▲ 58.5%
2022/4	55.8	＋ 35.1%	▲ 47.8%

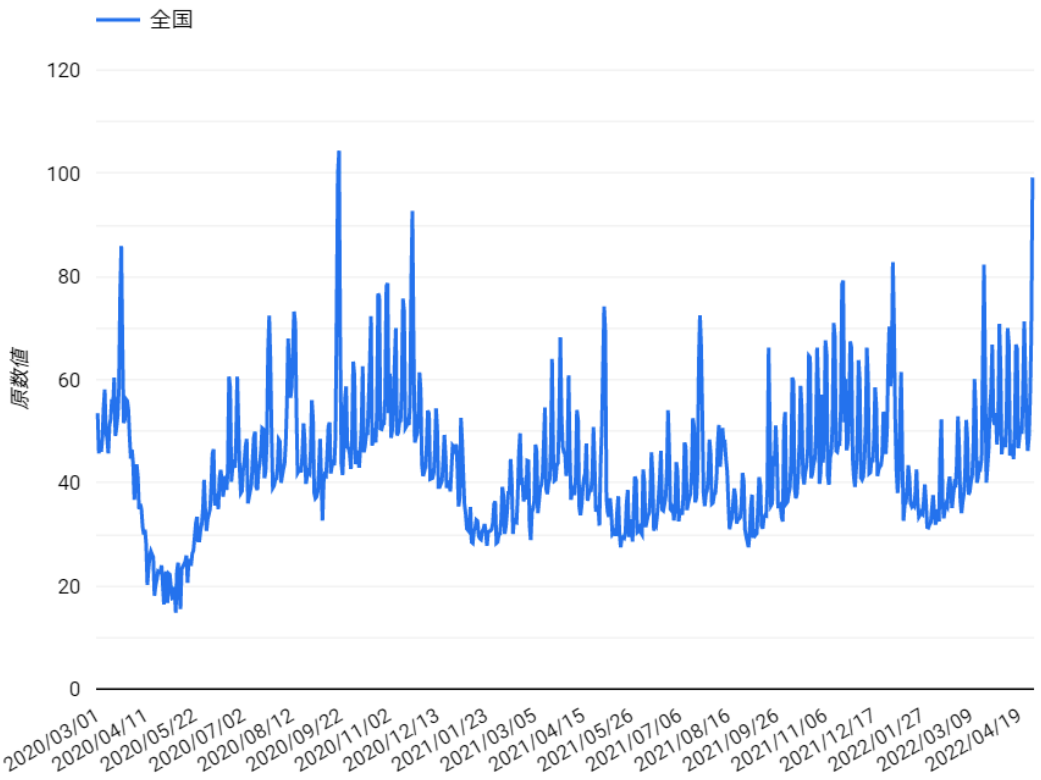
注）2022 年 5 月 1 日までのデータによる推計値　　資料）九経調 DATASALAD

[1] 「おでかけウォッチャー」で提供している位置情報ビッグデータは、株式会社ブログウォッチャーより提供を受けたものであり、承諾を得たユーザー（月間 2,500 万 MAU）のスマートフォンから取得したものである。おでかけウォッチャーの詳細はウェブサイト（https://odekake-watcher.info/）並びに岡野秀之「デジタル観光動態統計プラットフォームおでかけウォッチャーの開発」（九州経済調査月報 2022 年 5 月号）を参照。

[2] おでかけ指数は、新型コロナウイルス感染拡大前である 2019 年の日平均を 100 とした指数である。おでかけ指数の詳細は小柳真二「新たな人流指標『おでかけ指数』の開発」（九州経済調査月報 2022 年 5 月号）を参照。

また、全国のおでかけ指数（原数値）の推移を日次でみると、ゴールデンウィークの連休に入った4月30日に99.2と大きく上昇し、コロナ禍前の2019年平均の水準に近づいた（図2）。コロナ禍以後（2020年3月以降）では、Go Toトラベルの後押しがあった2020年9月21日（敬老の日）に104.4と100を超えていたが、それ以来の高水準となっている。

図2　全国の日次推移（原数値）



資料）九経調 DATASALAD

2. 地域ブロック別のおでかけ指数： 地方圏では 2019 年平均の 6～7 割水準に回復

2022 年 4 月のおでかけ指数を 12 の地域ブロック別にみると、東北（67.4）、甲信越（65.3）など地方圏で比較的高く、2019 年平均水準に対して 6～7 割程度の人流となった（表 2）。一方、南関東（46.8）など大都市部では低い傾向がある。前年比は全地域でプラスであり、特に近畿（前年比＋49.1%）、沖縄（同＋46.5%）など前年の落ち込みが大きかった地域で上昇した。2019 年同月比では、北海道（2019 年同月比▲31.2%）で最もマイナス幅が小さくなっている。

表 2　地域ブロック別おでかけ指数

地域	2022年4月	前年比	2019年同月比
全国	55.8	＋ 35.1%	▲ 47.8%
北海道	65.0	＋ 34.3%	▲ 31.2%
東北	67.4	＋ 37.0%	▲ 38.2%
北関東	63.7	＋ 21.1%	▲ 41.6%
南関東	46.8	＋ 38.1%	▲ 56.5%
甲信越	65.3	＋ 33.5%	▲ 38.2%
東海	55.9	＋ 24.2%	▲ 47.8%
北陸	62.2	＋ 37.3%	▲ 40.8%
近畿	56.5	＋ 49.1%	▲ 48.0%
中国	64.4	＋ 29.6%	▲ 39.9%
四国	65.1	＋ 40.3%	▲ 39.1%
九州	64.1	＋ 26.4%	▲ 37.7%
沖縄	54.2	＋ 46.5%	▲ 47.4%

注）2022 年 5 月 1 日までのデータによる推計値　　資料）九経調 DATASALAD

表 3　地域ブロック別おでかけ指数　指数・2019 年同月比によるソート

＜指数順＞

順位	地域	2022年4月	前年比	2019年同月比
1	東北	67.4	＋ 37.0%	▲ 38.2%
2	甲信越	65.3	＋ 33.5%	▲ 38.2%
3	四国	65.1	＋ 40.3%	▲ 39.1%
4	北海道	65.0	＋ 34.3%	▲ 31.2%
5	中国	64.4	＋ 29.6%	▲ 39.9%
6	九州	64.1	＋ 26.4%	▲ 37.7%
7	北関東	63.7	＋ 21.1%	▲ 41.6%
8	北陸	62.2	＋ 37.3%	▲ 40.8%
9	近畿	56.5	＋ 49.1%	▲ 48.0%
10	東海	55.9	＋ 24.2%	▲ 47.8%
11	沖縄	54.2	＋ 46.5%	▲ 47.4%
12	南関東	46.8	＋ 38.1%	▲ 56.5%

＜2019 年同月比順＞

順位	地域	2022年4月	前年比	2019年同月比
1	北海道	65.0	＋ 34.3%	▲ 31.2%
2	九州	64.1	＋ 26.4%	▲ 37.7%
3	甲信越	65.3	＋ 33.5%	▲ 38.2%
4	東北	67.4	＋ 37.0%	▲ 38.2%
5	四国	65.1	＋ 40.3%	▲ 39.1%
6	中国	64.4	＋ 29.6%	▲ 39.9%
7	北陸	62.2	＋ 37.3%	▲ 40.8%
8	北関東	63.7	＋ 21.1%	▲ 41.6%
9	沖縄	54.2	＋ 46.5%	▲ 47.4%
10	東海	55.9	＋ 24.2%	▲ 47.8%
11	近畿	56.5	＋ 49.1%	▲ 48.0%
12	南関東	46.8	＋ 38.1%	▲ 56.5%

注）2022 年 5 月 1 日までのデータによる推計値　　資料）九経調 DATASALAD

3. 都道府県別のおでかけ指数： 地域差はまだ大きいものの、全都道府県で回復

2022 年 4 月のおでかけ指数を 47 都道府県別にみると、奈良県の 78.5 から東京都の 44.8 まで、コロナ禍からの回復の程度に大きな開きがある（表 4）。指数の上位には、奈良県（78.5）、福島県（73.2）、熊本県（72.9）など地方圏が並んでいる。下位には東京都（44.8）、大阪府（49.1）、神奈川県（50.3）など三大都市およびその周辺の都府県が並んでいる。ただし、東京都（前年比＋45.0%）と大阪府（同＋52.5%）の前年比のプラス幅は全国よりも大きく、大都市においても回復が進みつつある。

表 4　都道府県別おでかけ指数

地域	2022年4月	前年比	2019年同月比	地域	2022年4月	前年比	2019年同月比
全国	55.8	＋ 35.1%	▲ 47.8%	三重県	55.4	＋ 22.8%	▲ 47.3%
北海道	65.0	＋ 34.3%	▲ 31.2%	滋賀県	62.2	＋ 28.5%	▲ 45.1%
青森県	72.6	＋ 29.6%	▲ 34.9%	京都府	64.4	＋ 68.6%	▲ 42.0%
岩手県	69.0	＋ 29.0%	▲ 32.9%	大阪府	49.1	＋ 52.5%	▲ 53.7%
宮城県	59.2	＋ 50.3%	▲ 44.8%	兵庫県	56.3	＋ 40.4%	▲ 47.5%
秋田県	70.8	＋ 24.2%	▲ 35.3%	奈良県	78.5	＋ 47.8%	▲ 36.7%
山形県	65.4	＋ 58.4%	▲ 37.3%	和歌山県	64.8	＋ 32.8%	▲ 40.3%
福島県	73.2	＋ 33.8%	▲ 37.3%	鳥取県	62.2	＋ 33.2%	▲ 41.2%
茨城県	65.6	＋ 20.4%	▲ 40.0%	島根県	67.0	＋ 28.4%	▲ 38.0%
栃木県	62.9	＋ 19.8%	▲ 44.3%	岡山県	59.6	＋ 28.7%	▲ 43.7%
群馬県	61.8	＋ 23.1%	▲ 41.0%	広島県	64.6	＋ 27.9%	▲ 40.1%
埼玉県	52.5	＋ 25.6%	▲ 53.7%	山口県	71.5	＋ 32.7%	▲ 33.9%
千葉県	50.6	＋ 22.2%	▲ 53.4%	徳島県	64.3	＋ 38.6%	▲ 42.0%
東京都	44.8	＋ 45.0%	▲ 58.1%	香川県	60.7	＋ 39.2%	▲ 43.4%
神奈川県	50.3	＋ 31.0%	▲ 53.4%	愛媛県	64.4	＋ 55.9%	▲ 38.9%
新潟県	66.9	＋ 29.7%	▲ 37.2%	高知県	72.2	＋ 24.9%	▲ 31.4%
富山県	69.6	＋ 36.2%	▲ 38.7%	福岡県	60.3	＋ 29.4%	▲ 40.6%
石川県	55.9	＋ 32.2%	▲ 44.9%	佐賀県	61.9	＋ 23.1%	▲ 39.7%
福井県	66.2	＋ 46.5%	▲ 36.0%	長崎県	67.8	＋ 36.7%	▲ 35.1%
山梨県	61.8	＋ 27.2%	▲ 43.7%	熊本県	72.9	＋ 19.7%	▲ 30.6%
長野県	65.8	＋ 41.2%	▲ 35.7%	大分県	69.4	＋ 28.3%	▲ 33.9%
岐阜県	65.5	＋ 24.1%	▲ 38.9%	宮崎県	66.8	＋ 21.7%	▲ 36.3%
静岡県	55.6	＋ 21.9%	▲ 47.4%	鹿児島県	63.1	＋ 22.1%	▲ 38.6%
愛知県	53.8	＋ 26.6%	▲ 50.3%	沖縄県	54.2	＋ 46.5%	▲ 47.4%

注）2022 年 5 月 1 日までのデータによる推計値。2022 年 4 月中に緊急事態宣言が適用されていた場合は「(緊 x)」、まん延防止等重点措置が適用されていた場合は「(ま x)」を都道府県名に付している（x は適用日数）
資料）九経調 DATASALAD

表 5　都道府県別おでかけ指数　指数・2019 年同月比によるソート

＜指数順＞

順位	地域	2022年4月	前年比	2019年同月比
1	奈良県	78.5	＋ 47.8%	▲ 36.7%
2	福島県	73.2	＋ 33.8%	▲ 37.3%
3	熊本県	72.9	＋ 19.7%	▲ 30.6%
4	青森県	72.6	＋ 29.6%	▲ 34.9%
5	高知県	72.2	＋ 24.9%	▲ 31.4%
6	山口県	71.5	＋ 32.7%	▲ 33.9%
7	秋田県	70.8	＋ 24.2%	▲ 35.3%
8	富山県	69.6	＋ 36.2%	▲ 38.7%
9	大分県	69.4	＋ 28.3%	▲ 33.9%
10	岩手県	69.0	＋ 29.0%	▲ 32.9%
11	長崎県	67.8	＋ 36.7%	▲ 35.1%
12	島根県	67.0	＋ 28.4%	▲ 38.0%
13	新潟県	66.9	＋ 29.7%	▲ 37.2%
14	宮崎県	66.8	＋ 21.7%	▲ 36.3%
15	福井県	66.2	＋ 46.5%	▲ 36.0%
16	長野県	65.8	＋ 41.2%	▲ 35.7%
17	茨城県	65.6	＋ 20.4%	▲ 40.0%
18	岐阜県	65.5	＋ 24.1%	▲ 38.9%
19	山形県	65.4	＋ 58.4%	▲ 37.3%
20	北海道	65.0	＋ 34.3%	▲ 31.2%
21	和歌山県	64.8	＋ 32.8%	▲ 40.3%
22	広島県	64.6	＋ 27.9%	▲ 40.1%
23	京都府	64.4	＋ 68.6%	▲ 42.0%
	愛媛県	64.4	＋ 55.9%	▲ 38.9%
25	徳島県	64.3	＋ 38.6%	▲ 42.0%
26	鹿児島県	63.1	＋ 22.1%	▲ 38.6%
27	栃木県	62.9	＋ 19.8%	▲ 44.3%
28	滋賀県	62.2	＋ 28.5%	▲ 45.1%
	鳥取県	62.2	＋ 33.2%	▲ 41.2%
30	佐賀県	61.9	＋ 23.1%	▲ 39.7%
31	群馬県	61.8	＋ 23.1%	▲ 41.0%
	山梨県	61.8	＋ 27.2%	▲ 43.7%
33	香川県	60.7	＋ 39.2%	▲ 43.4%
34	福岡県	60.3	＋ 29.4%	▲ 40.6%
35	岡山県	59.6	＋ 28.7%	▲ 43.7%
36	宮城県	59.2	＋ 50.3%	▲ 44.8%
37	兵庫県	56.3	＋ 40.4%	▲ 47.5%
38	石川県	55.9	＋ 32.2%	▲ 44.9%
39	静岡県	55.6	＋ 21.9%	▲ 47.4%
40	三重県	55.4	＋ 22.8%	▲ 47.3%
41	沖縄県	54.2	＋ 46.5%	▲ 47.4%
42	愛知県	53.8	＋ 26.6%	▲ 50.3%
43	埼玉県	52.5	＋ 25.6%	▲ 53.7%
44	千葉県	50.6	＋ 22.2%	▲ 53.4%
45	神奈川県	50.3	＋ 31.0%	▲ 53.4%
46	大阪府	49.1	＋ 52.5%	▲ 53.7%
47	東京都	44.8	＋ 45.0%	▲ 58.1%

＜2019 年同月比順＞

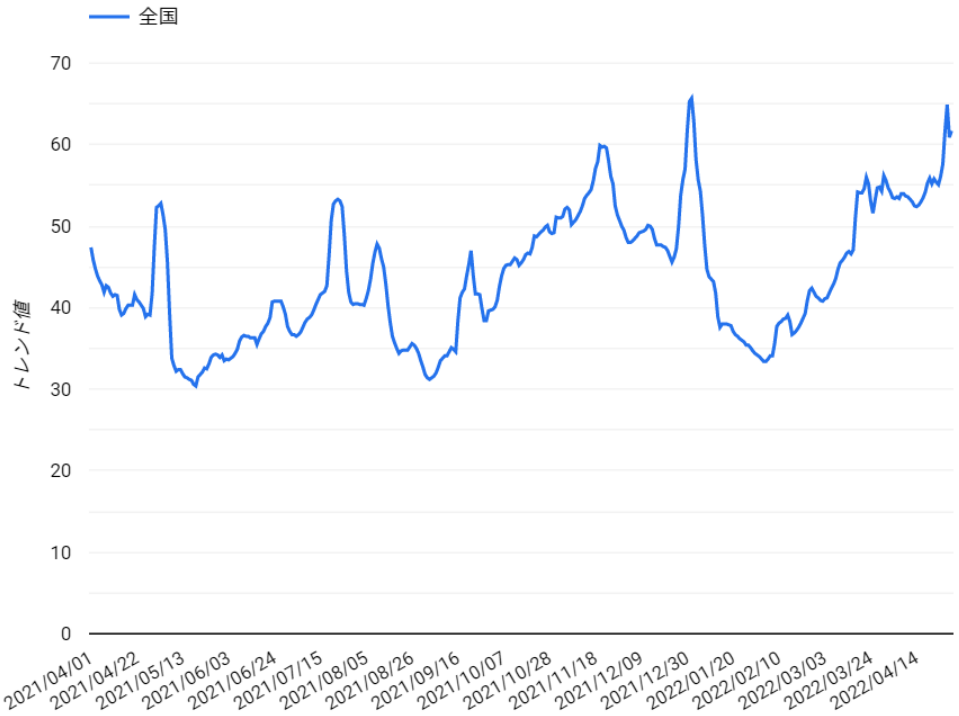
順位	地域	2022年4月	前年比	2019年同月比
1	熊本県	72.9	＋ 19.7%	▲ 30.6%
2	北海道	65.0	＋ 34.3%	▲ 31.2%
3	高知県	72.2	＋ 24.9%	▲ 31.4%
4	岩手県	69.0	＋ 29.0%	▲ 32.9%
5	大分県	69.4	＋ 28.3%	▲ 33.9%
6	山口県	71.5	＋ 32.7%	▲ 33.9%
7	青森県	72.6	＋ 29.6%	▲ 34.9%
8	長崎県	67.8	＋ 36.7%	▲ 35.1%
9	秋田県	70.8	＋ 24.2%	▲ 35.3%
10	長野県	65.8	＋ 41.2%	▲ 35.7%
11	福井県	66.2	＋ 46.5%	▲ 36.0%
12	宮崎県	66.8	＋ 21.7%	▲ 36.3%
13	奈良県	78.5	＋ 47.8%	▲ 36.7%
14	新潟県	66.9	＋ 29.7%	▲ 37.2%
15	山形県	65.4	＋ 58.4%	▲ 37.3%
16	福島県	73.2	＋ 33.8%	▲ 37.3%
17	島根県	67.0	＋ 28.4%	▲ 38.0%
18	鹿児島県	63.1	＋ 22.1%	▲ 38.6%
19	富山県	69.6	＋ 36.2%	▲ 38.7%
20	岐阜県	65.5	＋ 24.1%	▲ 38.9%
21	愛媛県	64.4	＋ 55.9%	▲ 38.9%
22	佐賀県	61.9	＋ 23.1%	▲ 39.7%
23	茨城県	65.6	＋ 20.4%	▲ 40.0%
24	広島県	64.6	＋ 27.9%	▲ 40.1%
25	和歌山県	64.8	＋ 32.8%	▲ 40.3%
26	福岡県	60.3	＋ 29.4%	▲ 40.6%
27	群馬県	61.8	＋ 23.1%	▲ 41.0%
28	鳥取県	62.2	＋ 33.2%	▲ 41.2%
29	徳島県	64.3	＋ 38.6%	▲ 42.0%
30	京都府	64.4	＋ 68.6%	▲ 42.0%
31	香川県	60.7	＋ 39.2%	▲ 43.4%
32	岡山県	59.6	＋ 28.7%	▲ 43.7%
33	山梨県	61.8	＋ 27.2%	▲ 43.7%
34	栃木県	62.9	＋ 19.8%	▲ 44.3%
35	宮城県	59.2	＋ 50.3%	▲ 44.8%
36	石川県	55.9	＋ 32.2%	▲ 44.9%
37	滋賀県	62.2	＋ 28.5%	▲ 45.1%
38	三重県	55.4	＋ 22.8%	▲ 47.3%
39	沖縄県	54.2	＋ 46.5%	▲ 47.4%
40	静岡県	55.6	＋ 21.9%	▲ 47.4%
41	兵庫県	56.3	＋ 40.4%	▲ 47.5%
42	愛知県	53.8	＋ 26.6%	▲ 50.3%
43	神奈川県	50.3	＋ 31.0%	▲ 53.4%
44	千葉県	50.6	＋ 22.2%	▲ 53.4%
45	大阪府	49.1	＋ 52.5%	▲ 53.7%
46	埼玉県	52.5	＋ 25.6%	▲ 53.7%
47	東京都	44.8	＋ 45.0%	▲ 58.1%

注）2022 年 5 月 1 日までのデータによる推計値　　資料）九経調 DATASALAD

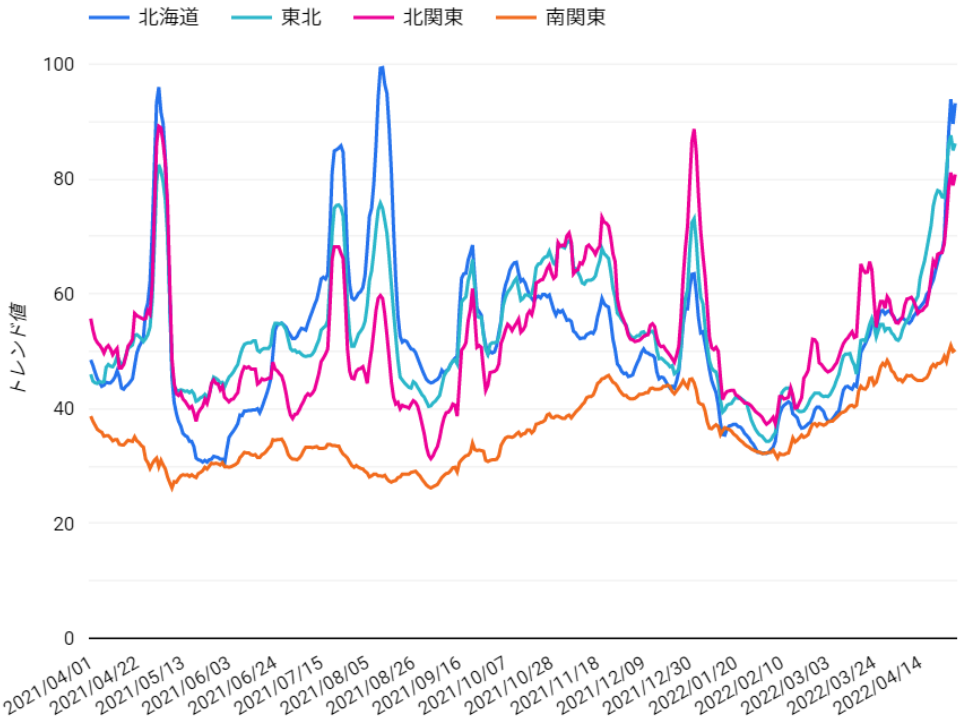
4. 日次推移

図３　地域ブロック別の日次推移（トレンド値）

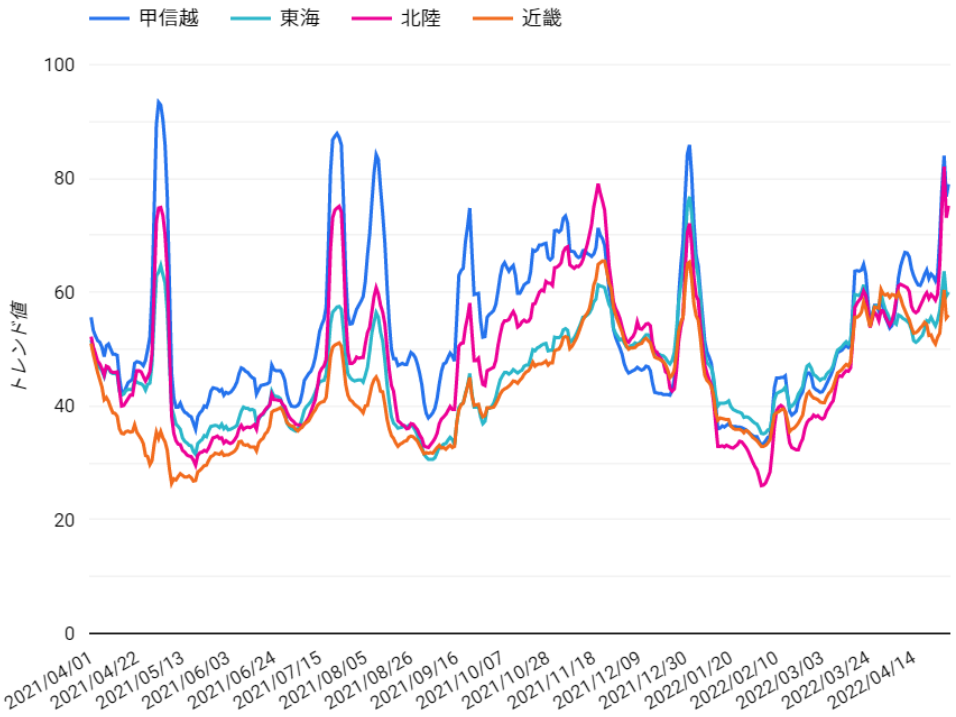
＜全国＞



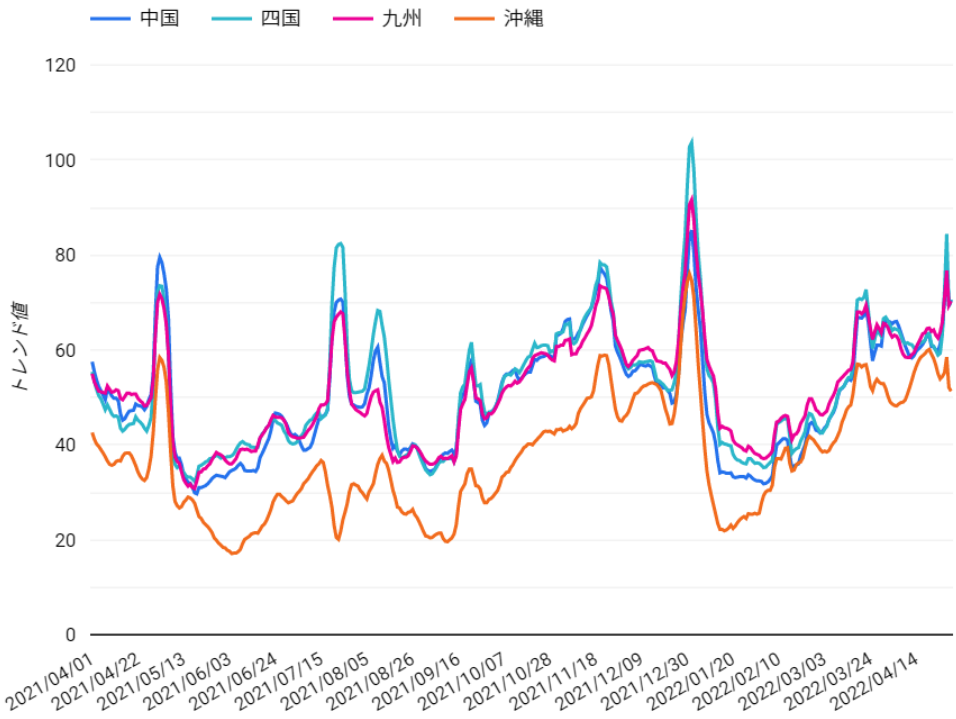
＜北海道～南関東＞



＜甲信越～近畿＞



＜中国～沖縄＞



注）2022 年 5 月 1 日までのデータによる推計値
資料）九経調 DATASALAD

小柳 真二（事業開発部 主任研究員）
E-mail: skoyanagi@kerc.or.jp

参考：おでかけ指数の定義・算出方法

おでかけ指数は、市区町村別の人流をコロナ禍前の 2019 年を基準に指数化したものである。これを、来訪地側（着地側。ある市区町村への来訪者数）と、発地側（ある市区町村（居住地域とみなされる市区町村）からの出発者数）の双方について算出している。具体的には、以下のようなルールである（試作版のため、今後変更の可能性がある）。

①対象期間、公表時期

来訪地側・発地側とも 2019 年 1 月以降である。おでかけウォッチャー（以下、OW）と同じく、毎週月～日曜日のデータを翌木曜日に公表する。

②モニタリングスポット、市区町村ごとのユニーク化

OW では、各市区町村につき最大 20 地点をモニタリングスポットとして設定し、それらの地点のいずれかを訪れた人数を市区町村別来訪者数として算出している（複数地点を訪れた場合も 1 人とカウント）。来訪地側（着地側）のおでかけ指数で用いるのは、この市区町村別来訪者数である。また発地側は同じデータを発地側で集計した人数を基としている。

OW では各市区町村（基礎自治体）がモニタリングスポットを任意の地点に変更できるサービスとしているが、おでかけ指数ではデータの連続性を保つ観点から、OW のリリース時点（2021 年 10 月）に九経調がデフォルトとして設定したスポット（※）を対象としている。

※各市区町村において来訪者数（2019 年のゴールデンウィークにおける 250m メッシュ別の来訪者数）が上位 20 のメッシュを選定した。ただし、選定の際には、より上位のメッシュと隣接（メッシュ中心間の距離が 500m 以内）するメッシュは除外した

③人流計測の条件

すべての人流が来訪および出発としてカウントされるのではなく、居住地域とみなされる場所から 20km 以上離れた場所で位置情報が一定時間検出された場合、かつそれが通勤・通学のような日常的な訪問地ではない場合という条件がある。

④指数算出地域

②の通り市区町村別にユニーク化した人数を基礎に指数を算出しているため、厳密には市区町村別の指数を参照いただきたい。ただ、より上位スケールの地域間比較等のニーズもあるため、市区町村別の人数を足し上げて都道府県や地域ブロック別の人数を算出し、それをもとにこれらの地域別の指数も公表している。

⑤算出方法

各地域（市区町村や都道府県等）について、2019 年の 1 日当たり平均人数を 100 として、各日の人数を指数化したものを原数値とする。そのうえで、人流には曜日による変動が大きい特徴があり、原数値のままではトレンドをとらえにくいことから、原数値を 7 日間周期のデータとみなし、トレンド成分（中長期的変動）、曜日成分（曜日による変動）、イベント成分（天候やイベント（催事）等による短期的変動。他の 2 つの残差）の 3 つに要因分解を行うことで、トレンド値および曜日調整値を得る。各数値の計算方法・等式は以下の通りである。

原数値 ＝ （各日人数÷2019 年の 1 日当たり平均人数）×100 日次（原数値）

トレンド値 ＝ トレンド成分 ＝ 原数値 － 曜日成分 － イベント成分

曜日調整値 ＝ 原数値 － 曜日成分

⑥一部地域の算出除外

位置情報ビッグデータは個人特定がなされないように抽象化処理がなされたものであり、その過程で閾値未満の人流は秘匿されるため、来訪者数・出発者数のカウントから除外される。したがって、来訪者数・出発者数が毎日計測されていない一部地域（離島等）が存在する。このような地域について⑤のような手法による指数化は、ブレが大きくなるなど必ずしも適切でないため、2019 年において来訪者数・出発者数が計測される日が 180 日未満の自治体については指数を算出しない。